

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング

上場取引所 東

コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 敏夫

TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,552	19.2	264	△10.9	234	△20.1	155	△37.9
25年3月期第3四半期	5,495	0.4	297	45.8	293	44.0	249	56.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 156百万円 (△37.4%) 25年3月期第3四半期 249百万円 (56.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.49	8.19
25年3月期第3四半期	13.91	13.81

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,403	1,653	18.3
25年3月期	3,388	1,411	40.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,534百万円 25年3月期 1,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,364	27.9	626	75.5	570	58.1	382	36.3	20.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社弘乳舎
、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	18,282,500 株	25年3月期	18,250,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,400 株	25年3月期	2,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	18,274,145 株	25年3月期3Q	17,948,872 株

(注)当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記情報)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和等による円安・株高の流れから緩やかな景気回復の兆しがみられました。消費マインドも高額品等一部で持ち直しつつある一方、所得環境の改善はまだ大きくは進んでおらず、依然予断を許さない状況が続いております。

外食産業におきましては、消費に若干の回復がみられるものの、物価上昇への懸念、原材料価格の上昇等もあり引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という新たな目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」の各課題に取り組みました。

子会社である株式会社プライム・リンクの「牛角」では、冬のキャンペーン「男牛角」とそのCMや、LINEその他のメディアを使用した販促施策、またテレビ露出などもあり既存店業績が引き続き好調に推移するとともに、大型店を含む新規店舗のオープンにより全店業績も伸長しました。「とりでん」は、グランドメニュー変更を行うとともに、ロードサイド、住宅立地の特性を生かした店舗モデルの構築を視野に宅配の試験導入を直営店で実施しました。「キムカツ」では、堅調な店舗での営業に加え、イベント会場での弁当販売など新たな取組も好調で売上、利益ともに寄与しました。

同じく子会社である株式会社とり鉄は、11月にグランドメニュー変更を行い新たな名物「手羽つく」を販売、フェア等も開催して客数が向上しました。

株式会社フードスタンドインターナショナルは、12月に大阪でロールケーキ等を製造販売する「GOKOKU(ゴコク)」7店舗の事業を譲受け、新たに洋菓子の製造販売を開始いたしました。

こうした結果、既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」104.5%、「とりでん」95.7%、「おだいどこ」91.9%、「とり鉄」98.4%、グループ飲食事業全体で99.9%となりました。

株式会社弘乳舎については、前年に比べ売上は増加したものの、利益においてはのれん償却により営業損失を計上しました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,552百万円(前年同四半期比19.2%増)、営業利益は264百万円(前年同四半期比10.9%減)、経常利益は234百万円(前年同四半期比20.1%減)、四半期純利益は155百万円(前年同四半期比37.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①店舗運営

株式会社プライム・リンクにおいて1店舗を閉店する一方、株式会社フードスタンドインターナショナルが譲受けたロールケーキ等を製造販売する「GOKOKU(ゴコク)」の7店舗が加わりました。株式会社とり鉄におけるフランチャイズ店舗の譲受けを含めると、当第3四半期連結会計期間末における当社グループの直営店舗数は50店舗となり、店舗運営の売上高は2,227百万円(同2.7%増)、営業利益5百万円(同78.1%増)となりました。

②フランチャイズ

株式会社プライム・リンクでは5店舗をオープンする傍ら2店舗を閉店しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における当社グループのフランチャイズ店舗数は302店舗となり、フランチャイズの売上高は2,553百万円(同10.9%減)、営業利益810百万円(同25.9%増)となりました。

③食品

乳製品の加工受託及び製造販売事業を主たる事業とする株式会社弘乳舎が行う生産余剰乳(余乳)

の加工受託事業及び液状乳製品（脱脂濃縮乳）事業により、食品の売上高は1,042百万円、営業損失は29百万円となりました。

④その他

転貸における売上及び加盟企業向け販促物の売上等を中心に、売上高は729百万円（同58.4%増）、営業利益57百万円（同58.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,403百万円となり、前連結会計年度末に比較し5,014百万円増加いたしました。これは主に、第2四半期連結会計期間において、株式取得により新たに子会社化した株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めたことにより、総資産が3,335百万円及びのれんが1,391百万円計上されたことによるものであります。

負債合計は6,749百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,772百万円増加いたしました。これは主に、株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めたことにより、負債が2,136百万円計上されたこと及び借入金2,178百万円の増加によるものであります。

純資産については、四半期純利益及び少数株主持分の計上により、前連結会計年度末と比べ241百万円増加し、1,653百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月28日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。今後、連結業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、株式取得により新たに子会社化した株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,597	1,700,142
受取手形及び売掛金	—	1,095,270
売掛金	634,974	—
商品及び製品	—	357,416
商品	59,079	—
仕掛品	—	12,682
原材料及び貯蔵品	—	34,565
貯蔵品	12,470	—
その他	225,429	286,791
貸倒引当金	△53,231	△14,326
流動資産合計	1,538,320	3,472,542
固定資産		
有形固定資産		
土地	—	1,397,300
その他(純額)	254,755	790,036
有形固定資産合計	254,755	2,187,336
無形固定資産		
のれん	254,764	1,675,568
その他	38,356	33,016
無形固定資産合計	293,121	1,708,585
投資その他の資産	1,302,751	1,034,584
固定資産合計	1,850,627	4,930,506
資産合計	3,388,948	8,403,048
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	—	742,664
買掛金	391,862	—
短期借入金	394,130	2,220,930
未払法人税等	57,308	19,267
賞与引当金	—	17,667
店舗閉鎖損失引当金	—	2,860
その他	456,599	1,319,855
流動負債合計	1,299,900	4,323,244
固定負債		
社債	70,000	145,000
長期借入金	—	1,198,637
退職給付引当金	—	91,295
役員退職慰労引当金	—	50,444
資産除去債務	79,811	100,683
その他	527,351	840,369
固定負債合計	677,163	2,426,428
負債合計	1,977,063	6,749,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,888	704,091
資本剰余金	659,185	662,388
利益剰余金	14,183	169,218
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	1,372,829	1,534,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△477	36
その他の包括利益累計額合計	△477	36
新株予約権	39,532	39,795
少数株主持分	—	79,272
純資産合計	1,411,884	1,653,374
負債純資産合計	3,388,948	8,403,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,495,386	6,552,833
売上原価	2,941,637	3,931,487
売上総利益	2,553,748	2,621,346
販売費及び一般管理費	2,256,700	2,356,785
営業利益	297,048	264,560
営業外収益		
受取利息	998	4,024
受取家賃	3,000	3,411
受取補償金	19,095	7,299
その他	8,487	9,764
営業外収益合計	31,581	24,499
営業外費用		
支払利息	7,488	26,995
支払手数料	5,577	19,370
その他	22,261	8,409
営業外費用合計	35,327	54,775
経常利益	293,302	234,284
特別利益		
固定資産売却益	—	340
新株予約権戻入益	540	3,915
環境安全対策引当金戻入額	—	24,108
特別利益合計	540	28,364
特別損失		
固定資産売却損	—	184
店舗閉鎖損失	—	13,884
賃貸借契約解約損	6,344	27,883
その他	—	8,982
特別損失合計	6,344	50,935
税金等調整前四半期純利益	287,498	211,713
法人税、住民税及び事業税	39,420	16,270
法人税等調整額	△1,614	39,739
法人税等合計	37,806	56,009
少数株主損益調整前四半期純利益	249,691	155,704
少数株主利益	—	668
四半期純利益	249,691	155,035

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	249,691	155,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	513
その他の包括利益合計	△170	513
四半期包括利益	249,521	156,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,521	155,548
少数株主に係る四半期包括利益	—	668

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1. 第三者割当による新株予約権の発行について

平成26年1月16日開催の取締役会において、以下のとおり第三者割当により発行される第6回新株予約権の募集を行なうことを決議し、平成26年2月3日に発行いたしました。

新株予約権の銘柄	株式会社アスラポート・ダイニング第6回新株予約権
募集の方法	第三者割当の方法により、全額をマイルストーン・キャピタル・マネージメント株式会社に割り当ております。
新株予約権の総数	19,855個（新株予約権1個当たり100株）
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	普通株式 1,985,500株
新株予約権の発行価額の総額	2,382,600円（新株予約権1個当たり120円）
新株予約権の行使時の払込金額	277円
新株予約権の行使期間	平成26年2月3日から平成28年2月2日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額の総額	549,983,500円
申込期日	平成26年2月3日
割当日	平成26年2月3日
払込期日	平成26年2月3日
資金使途	事業の取得（M&A資金）であり、支出予定時期は平成26年2月から平成28年1月までであります。

2. 第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行について

平成26年1月16日開催の取締役会において、以下のとおり第三者割当により発行される第1回転換社債型新株予約権付社債の発行することを決議し、平成26年2月3日に発行いたしました。

銘柄	株式会社アスラポート・ダイニング第1回無担保転換社債型新株予約権付社債
募集の方法	第三者割当の方法により、全額をマイルストーン・キャピタル・マネージメント株式会社に割り当ております。
発行価額の総額	150,000,000円
各社債の金額	3,000,000円

発行価格	額面100円につき金100円。但し、本新株予約権と引換えに金銭の払込みを要しないものとする。
利率	年率1.0%
償還期限	平成28年2月2日
償還の方法	<p>本社債は、平成28年2月2日（償還期限）にその総額を各本社債の金額100円につき金100円で償還する。</p> <p>当社は、平成26年2月3日以降、償還すべき日の2週間以上前に本新株予約権付社債の社債権者（以下、「本社債権者」という。）に対し事前の通知（撤回不能とする。）を行った上で、当該繰上償還日に、その選択により、その時点で残存する本社債の全部（一部は不可）を、各本社債の額面100円につき金100円の割合で、繰上償還日まで（当日を含む。）の未払経過利息（本社債の利息のうち、支払期が到来せず、まだ支払われていないものをいい、以下同様とする。）及び未払残高の支払とともに繰上償還することができる。</p> <p>償還すべき日が銀行休業日にあたる場合は、その前銀行営業日にこれを繰り上げる。</p> <p>当社は、本新株予約権付社債権者と合意の上、随時本新株予約権付社債をいかなる価格でも買入れることができる。</p> <p>当社が本新株予約権付社債を買入れた場合には、当社は、いつでも、その選択により、当該本新株予約権付社債にかかる本社債を消却することができ、かかる消却と同時に当該本新株予約権付社債にかかる本新株予約権は消滅する。</p>
申込期日	平成26年2月3日
払込期日	平成26年2月3日
担保	本新株予約権付社債には物上担保及び保証は付されておらず、また、本新株予約権付社債のために特に留保されている資産はありません。
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	<p>本新株予約権の行使により当社が交付する当社普通株式の数は、同時に行使された本新株予約権に係る本社債のうち残存金額の総額を当該行使時において有効な転換価額で除して得られる最大整数とする。</p> <p>但し、行使により生じる1株未満の端数は切り捨て、現金による調整は行わない。</p>

新株予約権の数	各本社債に付された新株予約権の数は1個とし、合計50個の新株予約権を発行する。
転換価額	277円
新株予約権の行使期間	平成26年2月3日から平成28年2月2日まで
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額の総額	150,000,000円
資金使途	事業の取得(M&A資金)であり、支出予定時期は平成26年2月から平成28年1月までであります。

3. 転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の行使による増資

平成26年2月3日から平成26年2月13日までの間に第1回転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりであります。

(1) 発行した株式の種類及び株式数

普通株式 270,758株

(2) 増加した資本金

37,500千円

(3) 増加した資本剰余金

37,500千円

これにより、平成26年2月13日現在の普通株式の発行済株式数は、18,553,258株、資本金は741,591千円、資本剰余金は699,888千円となりました。